

学び合い・ふれあい・支え合う学校

みんなの学び舎 栃木中央小学校 学校だより 2月号



～一理を学べば 一理を行へ～

校長 玉田 浩



中央小の校庭南西部に、写真のような像が立っています。今は、以前のように姿を見かけることも少なくなりましたが、我々の世代が小学生のころはどこの小学校にも必ずあった「二宮金次郎（尊徳）」の像、本校には残っていました。金次郎は1787年、今の神奈川県小田原市の農家に生まれました。二宮家はもともと比較的裕福な農家でしたが、子どものころ近くを流れる川の氾濫による大洪水に見舞われ、生活が一気に苦しくなります。しかも、金次郎13歳のときに、懸命に働いた父親が亡くなり、さらに2年後、子ども3人を抱えて苦労を重ねた母親も他界します。金次郎と幼い弟2人は、それぞれに親類に引き取られました。金次郎は、親類の家で田畠の仕事に精を出すかたわら、わずかな時間も惜しんで学問にも熱心にいそしみ、実家の再興を成し遂げます。

そんな金次郎、栃木県とも深い関わりがあります。金次郎はやがて、小田原藩の家老である服部家の財政再建を依頼され、これを成功させます。金次郎の手腕を高く評価した小田原藩主は、彼に下野国桜町領（現在の栃木県真岡市：旧二宮町付近）の復興を命じました。荒れ果て疲弊した人々の心を立て直し、見事に領内の再建を果たします。合併前の町名「二宮町」は、金次郎にちなんで付けられました。桜町領再建後も、数多くの村の再建に手を貸しています。

1853年、幕府より日光東照宮所有の土地の再興を命じられ、日光へと向かいました。復興は順調に進みましたが、体調を崩していた金次郎は、命を受けた3年後の1856年、今市（現在の日光市今市）で亡くなりました。日光市今市にある報徳二宮神社の境内には、現在も金次郎のお墓があります。

「一理を学べば 一理を行へ」は、この二宮金次郎の教えです。どれだけ多くの学問を修め、たくさんの知識を身に付けていても、実際の生活の中で生かしていかなければ意味がありません。また、得た知識や技能を実際に活用することで、その学びはより確かなものとなっていきます。学校での子どもたちの学びも単に知識や技能の習得にとどまらず、昨日の学びが今日の課題解決に生かせないか考え、今日の学びを明日の課題に生かそうとする態度を育んでいけるよう、指導法の工夫・改善に努めていくことが大切です。正に、日々の授業の中で「一理を学べば 一理を行へ」の実践に心がけたいと思います。

二宮金次郎「ミニ情報」

- ① よく見られる金次郎の銅像は少年時代のものです。そのため、金次郎という人物に対して、小さいイメージをもつ人が多いようです。しかし、おとなになった金次郎は、身長が182cmで、体重は94kgもあり、足のサイズ（わらじの大きさ）は28cmだったといわれています。江戸時代の男子の平均身長は、155～157cmですから、金次郎はとても大きな人だったといえるでしょう。
（シリーズ 二宮金次郎を調べる本②）より
- ② 薪を背負って歩きながら読書する姿が一般的な金次郎像ですが、最近は「座って本を読む金次郎像」を設置しているところもあるようです。どうやら「歩きスマホ」を連想させることから、子どもが「ながら行動」を真似しないようにということらしいですね。しかし、資料をよくひも解くと、「薪を背負って歩きながら、勉強したことを暗唱していた」ということで、決して「ながら読書」をしていたわけではないようです。

※ 「シリーズ 二宮金次郎を調べる本①～③」は、中央小の図書室にも所蔵しております。興味のある人は、ぜひ手に取ってみてください。

新しい先生がいらっしゃいました



大島祐子先生

栄養教諭の横山先生が、御家庭の事情により、1月14日よりお休みをとることになりました。代わりに学校栄養士として、大島祐子先生が1月16日より本校に来てくださいました。大島先生には、横山先生同様、子どもたちが楽しみにしている、おいしくて安全・安心な給食の提供にお力をお貸しいただきます。よろしくお願ひします。

新登校班編成会議

1月9日(木)、来年度の登校班編成会議を行いました。現6年生のいる班は、班長が交代します。新1年生が加入する班もあります。メンバーや集合場所・時刻を確認したらカードに記入し、「新入生への連絡カード」も作成しました。登下校で最も重要なのは、安全に気を付けること。新メンバーでも協力し合い、交通事故に注意して登下校していくよう確認し合いました。



しっかり確認できたかな?

先輩に学ぶ～6年生～



先輩ありがとう!

6年生の教室に西中1年生がやってきました。6年生もう少しで卒業。きっと、大きな期待とともに、勉強のことや部活動のこと、先輩との関係、先生方のことなど、不安を抱えている児童がいるかもしれません。そんな子どもたちの不安を、少しでも取り扱っていけたらとの思いから、中学生たちが、子どもたちの質問に丁寧に回答してくれました。多少なりとも不安が解消され、進学に向けた期待が大きく膨らんだことだと思います。中学校では、きっといいことがたくさん待っています。夢と希望をもって進学してください。

山本有三――忌

1月11日は、山本有三先生の命日に当たります。毎年この日に、山本有三記念会が主催して、近龍寺において「――忌」が開かれています。本校は、先生の母校ということもあります。6年生の代表児童3名も参加してきました。総合の時間「山本有三先生に学ぶ」で学習した、先生の作品や生き方から学んだことを作文にして、墓前で発表することができました。式のあとは、新聞社やケーブルテレビの取材に応じ、やや緊張気味でしたが、堂々とした態度で応していました。



堂々と発表できました

一日入学



みんなお行儀がいいですね

1月17日(金)、来年度入学予定の子どもたちをお迎えし、一日入学を実施しました。来年度の入学者は、現時点で78名です。大勢の来入予定の子どもたちと保護者が参加しました。保護者の皆さんには日惜ホールで説明をお聞きいただき、子どもたちは1年生の教室で仲良く過ごしました。画用紙に絵を描いたり、ビデオを見たりして、家族が迎えに来るのを、行儀よく待つことができました。来年度から、元気に登校できるよう、学校・家庭・地域で力を合わせて見守っていきたいと思います。

たくさんのボランティアの皆様にお世話になっています



1月20日(月)～22日(水)の3日間、珠算ボランティア協会の皆様による3年生のそろばんの

学習、同じく20日(月)には、すずらん薬局の佐藤先生による6年生の薬物乱用防止教室を実施。さらに22日(水)には、日本赤十字社の方を講師に招き5年生の救急法講習会を、24日(金)には1年生の昔遊び体験を行いました。専門的な立場からの話や体験活動は、一人一人の学びをより確かなものとします。御協力いただいた大勢のボランティアの皆様、お世話になりありがとうございました。



職員研修(防犯訓練)



不審者役は野口先生

1月22日(水)、職員研修で防犯訓練を行いました。29

日の不審者対応避難訓練に先立ち、栃木警察署スクールセンターを講師に、さすまたを使って不審者をけん制したり、取り押さえたりする訓練です。一人での対応の仕方、複数で対する場合など、丁寧に御教授いただきました。いざという時に子どもたちを守れるよう、いっそう気を引き締めていきます。

給食感謝の会

1月28日(火)に、日頃お世話になっている調理員さんたちに感謝する会を実施しました。残念ながら今年も、インフルエンザの影響で、放送による集会でした。限られた人数で、安心・安全に配慮し、毎日おいしい給食を作ってくれる調理員さん、生産者や食材を届けてくださる方、そして「命をいただいている」ことへの感謝を表すことができました。これからも、感謝しながら給食をたくさん食べて、元気な生活を送りたいですね。

2月 主な行事予定

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1日（土） | SSH研究成果発表会 |
| 5日（水） | 中央小発表会（2・5年） |
| 6日（木） | 中央小発表会（3・6年） |
| 7日（金） | 中央小発表会（1・4年・特支） |
| 11日（火） | 学校運営協議会
太平山廻遊駅伝 建国記念の日 |

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 12日（水） | 交通指導員さん感謝の会 |
| 14日（金） | 喫煙防止教室（4年） |
| 15日（土） | 栃木市ハンドボール大会（～16日） |
| 19日（水） | 6年生に感謝する会 |
| 20日（木） | ボランティアさん感謝の会 PTA運営委員会（新役員会） |
| 23日（日） | 天皇誕生日（24日（月）振替休日） |